

8月23日(水)

恒例の「生老会遠足」開催

午前8時半、JA真和志国場支店前に集合した68名の生老会の皆さんは出席点呼を終えたあとバスに乗り込んだ。

最初の目的地「ビオスの丘」では遊水池の遊覧船に乗りツルランなどの山間部の植物を観察したり、水辺の水牛や池の周りにセットされた優雅な施設を見学した。次に訪れた「喜瀬ビーチホテル」のランチバイキングでは、各自が思い思いの嗜好で心ゆくまで食事を



楽しんだ。昼食後、名護市字山田の「民俗資料博物館」では戦前戦後の古民具や生活用品、去る大戦の映像や戦後復興時の各地域の写真などが数多く展示物を見学した。特に沖縄戦の映像は感慨深いもの



があった。次の目的地、恩納村「おんなの駅」では各自が売店で土産品を買い付けた。終始笑顔の絶えない生老会の皆さんは余韻を残しつつ帰路へ。午後5時30分、安心安全の遠足を無事に終え解散した。



国場野菜生産部会

第15回定期総会 開催

平成29年8月29日(火)、国場野菜生産部会の定期総会が開催された。嘉数正晃部会長の挨拶にはじまり、活動報告や決算書などが承認されたあと、

次年度の活動計画案などについても慎重に審議され可決された。

近年の都市化に伴い国場地域内の農地面積は以前よりも手狭に

なった。しかし、他市町村に農地を移した国場魂を持つ生産者たちの野菜作りは今後も大きく飛躍するものと期待している。

【国場野菜生産部 役員】

部会長：嘉数正晃 事務局：玉城薫 会計：嘉数正則（新任）

監査役：嘉数武 運営委員：嘉数祐一、新垣宋永

字国場慰霊之塔

工事安全祈願祭

大安吉日の8月21日(月)、沖宮の城間神職により執り行われた。施工業者(関ヶ原石材)が準備した会場には自治会の執行部や評議員、相談役、サークル長など多くの関係者が参列した。城間恵紳評議員が司会を務め鍬入れも無事終了し、直会(なおり)では御神酒をいただきつつ着工を喜んだ。続く会式では渡嘉敷正彦自治会長をはじめ戦没者遺族代表の新垣宋永氏、相談役の渡慶次弘氏、施工業者の緑間禎氏、設計代表の嘉数芳則氏が挨拶をし、慰霊之塔建立について各々の想い



を語った。そのあと渡嘉敷光助氏が乾杯の音頭をとり、和やかな懇親会の運びとなった。宴たけなわ、午後7時に嘉数均副会長の閉会の辞で無事祈願祭は終了した。



子の方、黄金ムイの牌

仮移設と施工安全祈願拝み



8月15日(火)、慰霊之塔建立工事と同時施工になる子の方、黄金ムイの祠設置に伴う牌の仮移設と同設置工事の安全祈願の拝みを開催した。同拝みは渡嘉敷光助、和子夫妻により

執り行われた。自治会役員、慰霊之塔建設委員、木会役員(10名)が参加した。この祠設置によって今後拝みに来るの方々によりよい環境整備になるだろう。